レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成22年7月28日	使用開始日	平成22年9月1日		
登録診療科	血液内科	申請医師	上田　周二	化学療法委員会承認年月	平成　22 年　8 月
レジメン名	MTX大量1				
疾患名	非ホジキンリンパ種	適応の備考	1コースは14～21日間とする。		
適応分類	寛解導入療法、地固め療法				
1コース日数	14　日間	総コース数	3　コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	メソトレキセート3500mg/㎡　day1				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	側管	生食250mL	1	本 / body		●													
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1	本 / body	30 分	●													
				/															
2	側管	グラニセトロン注ﾊﾞｯｸﾞ1mg/50mL	1	本 / body		●													
	点滴静注	デキサート注1.65mg	3	本 / body	30 分	●													
				/															
3	側管	生食500mL	0.6	本 / body		●													
	点滴静注	メソトレキセート注	3500	mg / ㎡	3 時間	●													
				/															
	生食200mL抜く																		
4	側管	生食50mL	1	本 / body	5 分	●													
	点滴静注																		
				/															
5	側管	生食50mL	1	本 / body			●	●	●										
	点滴静注	アイソボリン点滴静注	7.5	mg / body	5 分		●	●	●										
		ロイコボリン注として15mg/body		/			×3	×4	×3										
	メソトレキセート投与開始後24時間後から6時間毎10回投与する。																		
	メソトレキセート投与開始後48時間値、72時間値を測定し、適切な対応をとる。																		

【投与上の注意】

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
尿のpHチェックを行い、pH7.0以上であることを確認すること。pHが低いときには、メイロン注を適宜追加投与する。
メイロン等を含めた補液をday1-3に投与する。
メソトレキセート200mg/8mLを大量に使用するため生食500mLの予備容量を超えることから予め生食200mLを抜いて調製する。